

力と女の世の中 (1933)

メディア 映画 アニメ

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1933/04/13

公開情報 松竹キネマ

【解説】

1920年代後半からの世界的なトーキー映画の隆盛を背景に、松竹が1932年に企画製作した、日本初の本格的なトーキーアニメ映画。同時に全面的にセルを使用した最初のアニメ作品でもある。

身長・体重ともにボリューム豊かな奥さんを持つサラリーマンの主人。彼は4人の子供を抱えた家長だが、大の恐妻家だった。そんなある日、奥方は夫の寝言から、亭主が会社のタイピストと浮気しているらしいとの疑惑を抱く。真偽を確認しようと会社へ乗り込んだ奥方は、主人とくだんのタイピストの仲良さそうな現場に遭遇。激情に駆られた二人の女は、夫の申し出を受けてボクシングで決着をつけることにするが……。

当時の松竹社長で日本映画史に有名を残す城戸四郎が、気鋭のアニメ作家・政岡憲三に国産初のトーキーアニメの製作を依頼。内容は完全な大人向けで、出演声優も当時の松竹大スター（主人公の声優は古川緑波）を登用した。

【クレジット】

監督 政岡憲三

製作 城戸四郎

原作 池田忠雄

脚本 池田忠雄

撮影 木村角山

音楽指揮 今沢将矩

声の出演 古川録波

沢蘭子

村島洋子

磯野秋雄

三井秀男

藤田房子

藤田陽子